

平成 27 年度 自己評価結果公表シート

第二すみれ幼稚園

1、本園の教育目標

子ども達一人一人が楽しみながら思考力を高め、創造力や判断力を培う事につとめ、絵画・音楽教育、基礎的な体力づくり等の充実した保育内容で「明るいすなおな子ども」に育っていくよう日々の保育に取り組む

本園の教育目標

- 1、 明るい豊かな心をもった子ども
- 2、 「ありがとう」とすなおな心をもった子ども
- 3、 どんなことにも負けない我慢強い子ども
- 4、 健康で心身ともに活動的な子ども

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領が改訂された事を考え、また自己点検や自己評価を実施する事によって本園での教育課程の内容を確認し教職員が共通の理解をはかり、教育の質を高める事で教育内容の改善に取り組む事を重点とする。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
災害や病気 怪我等の緊急時の備えや対策	非常持ち出し物、どうしたら子どもたちを安全に守れるのか？何度も話し合いを重ね、保護者への引き渡しカード作成や広域避難場所(小学校)までの、経路を歩くことでより注意する問題点も解り備えることができた。
普段のあそびを活かし行事につなげていく	普段遊んでいること、子どもたちが興味を持っていることを把握し、行事に取り入れたり、行事に使用するものを普段から出していくことで、楽しみ、無理なくつなげることができた。
豊かなあそびにつながる保育の充実	今まで実施していなかったことを「あそびが豊かに広がる」ことを願い、少しずつ実施してみた。子どもたち自身の発信が広がったり、子ども同士の関わりに変化が見られるようになり、あそびに広がりが見え始めてきた。今後も継続していきたい。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

職員会議を多く持てたことで、保育をより良いものに、そして、子どもたちが豊かな園生活を送れるようにするには、どうすべきなのか？を考え、振り返り、意見を聞き、今後の保育へつなげることができたと思う。今後も、よりクラスの実態や職員の共通理解・認識が持てるように努力していかなければいけない。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教師としての資質や保育の質の向上 ・教職員間の共通理解を図る ・余裕を持った保育の取り組み	行事や朝礼・終礼等の話し合いだけでなく、週 1 回の職員会議を設けることで、他のクラスの様子把握や保育計画を見直し、豊かな保育に取り組むことができる。
保護者との連携を図るための行事や保育の見直しをする。	子どもの成長を見守るためには、保護者との連携が必要である。保護者と懇談する機会を増すことで、子どもの様子を把握し、強い連携作りをする。
草花や木々など、色々なものの違いを肌で感じる自然体験ができるように保育環境の見直しをする。	体験できる保育として、昨年より進めている色水あそびや泥あそびがより豊かに遊べるよう、どんな環境が必要なのか？を見直し、できることを増やしていく。

6、学校関係者の評価

園での新しい遊びを自宅でも楽しんで話したり、同じように取り組んだりも、成果が子供を通じて顕著に見られました。保護者と先生との距離も縮まってきていると感じています。今後は、園内遊具が老朽化してきているので、その改善を求めます。また、年長児は行事で大変だと思いが、九九やひらがなの学習なども、もっと取り組んでほしいと思います。

7、財務状況

経理における各種帳簿も正確に記帳されており、適正に運営されています。